

まっすぐ



田中智也
県政レポート

vol.4

平成25年1月

発行人:田中智也 〒510-0839 四日市市青葉町800-92 電子メール:bottlenose@khaki.plala.or.jp
TEL・FAX:059-353-5995

たくさんのご意見をお待ちしております!

あけましておめでとうございます

昨年も大変お世話になりました。本当にありがとうございました。ご支援いただく皆様のおかげで様々な活動ができた感謝の気持ちで一杯です。

三重県議会は今年から定例会の招集回数が1回となり、いわゆる通年制議会となります。年間を通して議会活動が可能となり、執行部の行政活動を継続して監視することができることにもいつでも議案審議を行い議決できるようになります。また、災害など不測の事態に対する危機管理態勢が整えられるなど、メリットは多くありますが、私自身は会期を長くしただけでは議会機能の強化や改革したことにはならないと考えています。議員それぞれが議会活動を活発にさせていくため意識を高く持ち、年間を通じて活動していくことが重要だと思っています。

今後も皆様の思いやご意見をしっかりと県政に反映させ、いきいきと安心して働き、暮らせる三重県づくりに邁進していく所存です。引き続き皆様からのご指導やご助言をよろしく願いたします。

三重県議会議員 田中智也

田中智也 県政報告

飲酒運転防止に関する条例検討委員会

飲酒運転防止に関しては近年、道路交通法や刑法が厳罰化され、一定の効果がでてきているものの根絶にまでは至らず、厳罰化の限界が指摘されています。

そこで三重県議会では、県や県民等が一体となった飲酒運転防止対策のための条例づくりに向けた検討委員会を設置しました。(福岡県や沖縄県など5県で制定) 私もこの条例検討委員に就任し、第1

回(10月24日)では、「アルコール依存症が背景となるケースがあることなどから医師など専門家の意見を聴くべき」と発言し、第3回(12月13日)には、県立こころの医療センターの「長医師」の出席をいただきました。その中では、アメリカの飲酒運転の初回検挙者の約6割がアルコール依存症であるなどの貴重な意見を聴くことができました。



県立こころの医療センター「長 徹二医師」

今後は月2回程度の頻度で会議を開き平成25年6月の条例制定をめざして、検討・調査を進めていきます。



12月3日一般質問に立ちました 少し欲張って5項目を質問

四日市港の災害対応力の強化について

問 本県の産業振興を考える上で四日市港は非常に重要と捉えるが、その役割について改めて認識を問いたい。

答 四日市港は県内総生産、雇用者数、県税収入について本県経済の全体の一割強に影響をもたらすとともに、背後圏産業の発展を物流

面から支えているほか、企業誘致に際しても物流に対するニーズが満たされているかどうかは非常に重要なポイントであり、四日市港の存在は三重県にとって大きな強みである。その機能を維持し強化していくことは重要であり、さらなる発展に向けて関係者と連携を検討していく。

問 南海トラフ巨大地震やそれに伴う津波が発生した場合、被害を最小限に食い止めるとともに、港湾機能を継続させることが復旧、復興や経済活動には重要と考えるが本県の防災計画に、四日市港はどのように位置づけているのか?

答 耐震強化岸壁を優先整備する港湾として、また災害救援物資を備蓄・集散する第一次拠点として



指定している。

現在、南海トラフ地震の被害想定については見直し作業中であるが、そのような状況下における利用可能性についても調査をしており、その結果は四日市港管理組合等へ情報提供していく。

要望

四日市港は三重県、四日市市による一部事務組合による管理となっているが、本県にとって非常に重要な港湾であることから、県としても災害時の港湾機能の継続に関する取り組みについては主体的にかかわっていただきたい。

子どもと正面から向き合える体制づくりについて

問

全国的に教職員の病気休職者のうち、心を病む者の比率が非常

に高くなっている。本県の状況とその対策についてどうか？

答

本県公立学校における病気休職者数は平成20年度119人でうち精神疾患は71人、平成21年度は134人のうち97人と全国と同じように増加してきている。

この要因としては「複雑化する生徒指導への対応の負担」、「公務の質や量の変化」、「職場内外でのコミュニケーションの困難さ」と認識している。組織的な支援を

強化するため様々な取り組みを進



めているが、県教育委員会としては「課題を抱えた職員を孤独にしない」、「周りの職員が十分に目配せし、早期に気づく」「課題については職場が一丸となって対応をしていく」などが重要であると認識しており今後も対策を講じていく。

活動報告

- 10/ 1日 予算決算常任委員会
自治労三泗総支部会議
- 2日 市立四日市病院視察
- 3日 健康福祉・病院常任委員会
- 5日 健康福祉・病院常任委員会
母子寡婦福祉連合会懇談会
県職労定期大会
- 6日 三重県私学大会
- 9日 連合三重ディーセントワーク街頭行動
新政みえ会派総会
全員協議会
- 10日 四日市港防災関係調査
三滝川災害調査
- 11日 予算決算常任委員会
- 12日 県職労現業評議会定期大会
東海地連衛生医療評議会病院集会
- 14日 日永地区防災運動会
- 15日 本会議
四日市市市政懇談会
- 16日 県立飯野高校調査
- 17~19日 健康福祉・病院常任委員会県外調査
- 22日 四日市港管理組合議会
- 23日 予算決算常任委員会
- 24日 予算決算常任委員会
全員協議会
飲酒運転防止に関する条例検討委員会
- 26日 連合三重定期大会
- 28日 三重県母子寡婦福祉大会
- 29日 予算決算常任委員会
- 30日 都市計画審議会
- 31日 四日市港管理組合議会
- 11/ 2日 健康福祉・病院常任委員会
新政みえ会派総会
- 3日 四日市市戦没者追悼式
- 4日 常磐まつり
宇治山田高校同窓会北勢支部総会
- 6日 予算決算常任委員会
四日市市社会福祉大会
- 7日 全員協議会
- 8日 企業庁労組定期大会
- 9日 三泗地区労協定期総会
MIEワークーズ定期大会
- 11日 常磐地区バレーボール大会
青葉町文化祭
- 14日 飲酒運転防止に関する条例検討委員会
四日市市消防職員協議会定期総会
- 16日 三泗音楽会
- 18日 常磐地区ふれあいグランドゴルフ大会
森林に親しむつどい
- 19日 全国自治体議会改革推進シンポジウム
- 20日 本会議
- 21日 四日市港管理組合議会
- 22日 自治労三重県本部青年部定期大会
- 23日 三泗地区教職員中央レクリエーション大会
人権問題地区懇談会
- 25日 関西茶業振興大会
建設労働組合四日市支部懇談会
- 26日 本会議
- 27日 本会議
四日市市保育職員懇談会
- 28日 連合三泗地域協議会臨時大会
- 29日 本会議
- 30日 四日市港湾整備推進特別委員会
三泗インクルーシブ学習会

その他3項目の概要は次のとおりです。

スポーツの振興について

問

総合型地域スポーツクラブは多種目・多世代・多志向の3つの多様性を持っており、競技人口の増加や競技力向上に寄与するものと考えます。また、地域住民などにより運営されており子どもや高齢者の居場所づくり、そしてクラブへの愛着が地域への愛着となり、最終的に地域コミュニティを支える人材づくりにも貢

献すると考えるが、クラブ活性化のために県はどう取り組むのか？

答

国内のトップ選手を派遣し子どもがスポーツに親しむ機会づくりに取り組んでいる。今後、競技力向上の視点も踏まえた連携を一層進めるとともに、地域スポーツの推進につながるよう取り組む。

三重県職員人づくり基本方針について

問

三重県行財政改革取組における三重県職員人づくり基本方針策定中であるが、効率良く人材育成していくにはOJTを活用しつつ業務と位置づけるべきである。



答

12月中をめどに最終案を策定する予定である。若手・中堅の能力開発やベテラン職員の経

験の活用などを重点的に進め、組織全体で人材育成に取り組む。



近鉄内部・八王子線について

問

地元四日市では存続に向けた機運が盛り上がっているが、県も存続に向けた支援を検討するべきである。

答

地元で機運が盛り上がるのは心強い。現在、市と近鉄で協議中であり、まずは見守りながら県として支援が可能か検討していく。